

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2020年7月29日

商工中金

地域金融機関等と協調し、5Gの普及を見据えて新工場を建設する 株式会社ひびき精機様を金融面からサポート

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、関係機関と連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（下関支店）は、株式会社ひびき精機様（本社：山口県下関市、代表者：松山 英治様）に対し、山口銀行、日本政策金融公庫と協調して、新工場建設に必要な資金11億3,000万円のうち、2億円を融資しました。

同社は、インコネル等の難加工素材でもミクロン単位で切削・平面加工ができる高精度の切削加工業者です。半導体製造装置や航空エンジン部品など、厳しいレベルの品質要求にも短納期で対応可能な高い技術力を有しており、2013年には国際規格JISQ9100（航空宇宙）を取得しています。

今回、同社は、通信や医療、交通分野等におけるIoTや5G（第5世代移動通信システム）の普及を踏まえ、半導体製造メーカーからの受注の拡大に対応するため、新工場を建設しました。

なお同工場は、NTT西日本と連携した「ローカル5G」のモデル工場としての役割も担うこととなり、工場間の電波特性や遠隔監視等、ローカル5G活用の実証を行う予定です。これらの取り組みを通じて、将来的には自動化されたスマートファクトリーの実現を目指します。

商工中金は、同社の取り組みが地域の雇用創出に繋がるとともに、将来的には省力化による生産性向上、技術力を活かした異分野参入など、当社の企業価値向上に寄与するものと考え、メイン銀行である山口銀行等と連携して、新工場建設に必要な資金を協調で融資しました。また、ビジネスマッチング等、同社の積極的な事業展開をサポートしています。

商工中金は、公的金融機関で唯一のフルバンキング機能を有する機関として、地方公共団体や地域金融機関等と連携しながら、地域経済の活性化に貢献してまいります。

【新工場（第三工場）の概要】

所在地	山口県下関市菊川町田部 155 - 8
構造等	鉄骨造、延床面積 4,329 m ²
稼働日	2020年7月15日



【株式会社ひびき精機様の概要】

所在地	山口県下関市菊川町田部 186 - 2	資本金	7,500万円
代表者	松山 英治様	従業員数	99名（2020年6月現在）
業種	精密機械加工業	設立	1972年7月